

令和6年度 信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会
令和6年度 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会
令和6年度 新川等二級河川周辺地域における流域治水協議会

議事概要

開催日時：令和7年3月24日（月）15：00～17：00

会議方法：WEB 会議

まえがき

令和6年度 信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会、令和6年度 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会、令和6年度 新川等二級河川周辺地域における流域治水協議会は、Web 会議システムにより同時開催しました。

本会議で協議する内容について、事務局からの説明及び各構成機関からの意見等は以下のとおりです。

議事（１）規約の改定について

【議事内容】

事務局より、「水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会 規約（案）」において、別表の幹事会名簿およびオブザーバー名簿における役職名の変更について説明し、また、役職名の変更をもって規約の改定は行わないことを、第9条に追記したことを説明しました。

「信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会 規約（案）」では、同様に幹事会名簿及びオブザーバー名簿における役職名の変更と、役職名の変更をもって規約の改定は行わないことを第3条に追記したことについて説明しました。また、今回から「新川等二級河川周辺地域における流域治水協議会」も同時開催することを踏まえて、第4条に「新川等二級河川周辺地域における流域治水協議会」と連携する旨を加えたことを説明しました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（２）「流域治水プロジェクト2.0」の更新について

【議事内容】

事務局より、気候変動を踏まえた「信濃川水系流域治水プロジェクト2.0【信濃川下流部】」において、各機関からの意見を踏まえて、対策の記載内容を追記した点について説明しました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（３）「新川等二級河川周辺地域流域治水プロジェクト」の更新について

【議事内容】

事務局より、「新川等二級河川周辺地域流域治水プロジェクト」において、対策やロードマップの更新箇所について説明しました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（４）令和６年度取組状況フォローアップについて

【議事内容】

事務局より、３つの協議会における取組を踏まえた「取組状況フォローアップ様式」の変更内容の説明や、進捗状況については昨年度から引き続き記号による表記とし、対象無しの取り組みについては、表記は不要としてグレーハッチに統一することについて説明しました。

そのうえで、令和６年度の各機関の取組状況を共有しました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

**議事（５）「流域治水の自分事化に向けた取組の推進」に関する
令和６年度フォローアップ、令和７年度計画について**

【議事内容】

事務局より、住民や企業に水災害を自分事として捉えてもらうための施策を体系的に整理し、展開していくことを目指していく、流域治水の自分事化に向けた取組の推進について説明しました。

「令和６年度の自分事化に向けた取組計画のフォローアップ」については、各機関の取組実績における資料とりまとめ内容について説明しました。また、「令和７年度自分事化に向けた取組計画（案）」については、各機関の取組計画の内容やロードマップ、令和６年度計画からの変更箇所を示した資料について説明しました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（６）流域治水プロジェクトに基づく対策の事例について（各機関）

【議事内容】

各機関より、以下のとおり事例の紹介がありました。

（新潟市）

要配慮者利用施設の避難確保計画の作成に向けた講習会について紹介。

（長岡市）

近隣市や民間企業との協定締結による広域避難先の確保、「わが家の防災タイムライン」の作成・活用支援について紹介。

（三条市）

多言語版豪雨災害対応ガイドブックの作成について紹介。

（加茂市）

総合防災訓練・防災フェアの実施について紹介。

（見附市）

全市一斉総合防災訓練の充実化について紹介。

（燕市）

要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援講習会の実施について紹介。

（五泉市）

地域住民や学校などへの周知・教育・訓練に関する取組みについて紹介。

（弥彦村）

防災教育や防災知識の普及に関する取組について紹介。

（田上町）

要配慮者利用施設及び避難確保計画の作成に向けた支援の実施について紹介。

（新潟県防災局）

新潟県防災リーダーの養成について紹介。

(新潟県農林水産部)

新潟県内の信濃川流域における治山対策・森林整備の取組について紹介。

(新潟県農地部)

田んぼダムの整備・活用、排水機場等の整備、増設、適正な維持管理について紹介。

(新潟県土木部)

洪水を河川内で安全に流す対策、砂防関係施設の整備、水害リスク情報の空白域解消(浸水想定区域)、住民への情報伝達手段の強化について紹介。

(北陸農政局)

排水機場等の整備、増設、適正な維持管理について紹介。

(中越森林管理署)

信濃川下流域上流部における森林整備・治山対策・保安林の管理について紹介。

(森林整備センター)

水源林造成事業による森林の整備・保全について紹介。

(新潟地方气象台)

気象情報の充実、予測精度の向上(線状降水帯の予測精度向上等に向けた取り組み強化)について紹介。

(信濃川下流河川事務所)

内水排水ポンプの運転調整の検討、水害リスク情報の充実(水害リスクマップの整備)、新潟市秋葉区マイ・タイムライン作成講習会について紹介。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（７）話題提供：「信濃川下流域において大出水となりやすい気象の特性及び近年の豪雨の傾向」

【議事内容】

話題提供として、新潟地方気象台 台長 前多良一様より、「信濃川下流域において大出水となりやすい気象の特性及び近年の豪雨の傾向」について、ご説明いただきました。

【意見・質問】

（見附市 稲田市長）

近年の温暖化により、出水期以外の期間も含めて大雨が降る期間が長くなっていると感じるが、気象台の見解を伺いたい。

【回答】

（新潟地方気象台 前多台長）

温暖化の影響について、アメダスデータから大雨の頻度についての情報が公開されており、これによると新潟県の大雨の頻度は増加していることが言えるが、大雨が降る期間については客観的な資料はない状況である。ただし、6月頃から海面水温が平年より高まっており、水蒸気量が増える時期が早まっている状況から、場合によっては5月末等から大雨が降りやすくなっているとは言えると思われる。しかし、大災害を引き起こすような大雨については、気象のパターンも関わってくるため一概には言えないが、これまでにない大雨が降る条件は整ってきていると考えられるため、そういったことも踏まえて事前の備えが重要であると考えている。

議事（８）その他

【議事内容】

新潟県防災局より、「第10回防災推進国民大会（ぼうさいこくたい 2025in にいがた）の開催について」、ご紹介いただきました。（「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）について」及び「ワンコイン浸水センサ実証実験について」は事前の資料配付により情報提供）。

— 了 —